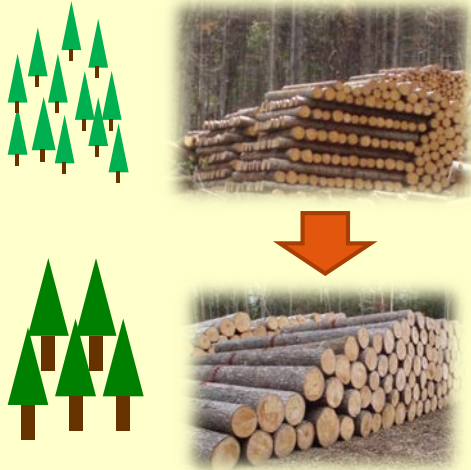


# 主伐期を迎える人工林材の利用拡大 ～地域材の利用拡大に向けて～

## 【背景～課題】

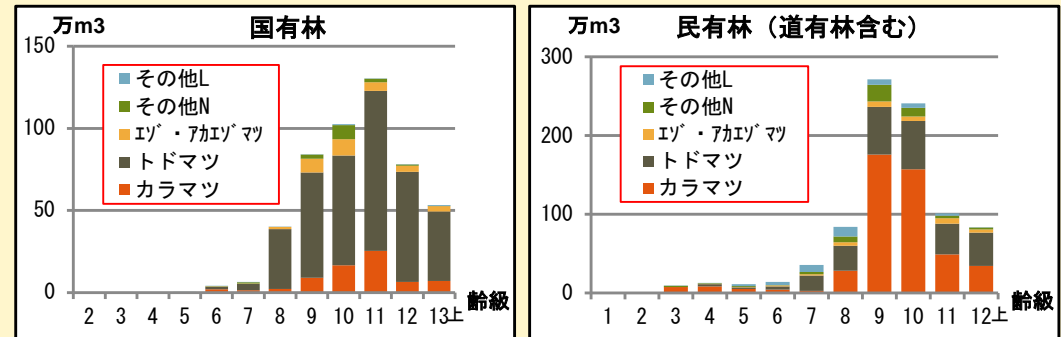
- ・人工林資源の充実により利用期を迎え、間伐から主伐へ移行
- ・主伐により中大径材の生産量が増  
→ 地域材の利用拡大の検討



## 【平成26年度の取り組み】

- ・地域の民有林・国有林の人工林資源の現状把握
- ・地域における木材工場等より需要動向等の把握
- ・認証材普及の現状の把握

網走中部森林管理署管内（1市4町）における人工林資源現況



カラマツを中心に伐期を迎える人工林は更に増加傾向

## 【具体的な取組内容】

- 1 地域の人工林（民・国）の樹種別林齢構成、蓄積の把握
- 2 今後主伐期を迎える人工林材の出材予測
- 3 地域における樹材種用途別の需要動向等の把握
- 4 民有林と連携した安定的な供給体制の構築等（情報共有）
- 5 需用者の用途に合わせた供給方策の検討
- 6 認証材として地域材のブランド化・付加価値の向上による利用拡大の検討

## 【今後に向けて】

- ・資源状況の分析、民有林との伐採情報の共有等を検討
- ・地域の木材需要動向については、継続して現状把握
- ・認証材の普及に向けて、民有林関係者等と意見交換等を実施